

東京都保健医療計画第七次改定への意見書（案）

1 マイナンバーカード及びマイナンバー保険証の利用促進に関わる普及啓発について【追加】

（素案該当箇所）

第 2 部 計画の進め方 第 1 章 健康づくりと保健医療体制の充実

第 1 節 都民の視点に立った医療情報の提供・都民の理解促進

素案 P.59 からの課題と取組の方向性の〈課題 2〉及び〈取組 3〉を追加

（意見①：課題の追加）

≪ 課題 2 ≫

○都民が、マイナンバーカードの健康保険証利用を進めることで、データにもとづく適切な医療、より良い医療が受けられるなどのメリットがあることを踏まえ、マイナ保険証利用に関する普及啓発を図ることが必要です。

（意見②：取組の追加）

（取組 3）マイナ保険証利用に対する普及啓発

○行政機関、医療保険者、医療提供施設など関係者が相協働して、マイナ保険証の利用促進に関わる普及啓発活動に努めます。

（理由）

マイナ保険証については、P59 に国の状況（第 1 節“都民の視点に立った医療情報の提供・都民の理解促進”の〈現状〉2 医療制度や医療情報に関する普及啓発内）、P475 に都民の役割（第 4 節“都民の果たすべき役割”の〈取組の方向性〉）について記載があるが、行政機関などの普及啓発に関することが記載されていない。

計画の基本理念にある「誰もが質の高い医療を受けられ安心して暮らせる『東京』」を具現化するためには、オンライン資格確認にもとづく医療情報の有効利用が不可欠である。都民の理解が進まず、さらなる利用促進に向けた取組みが求められる状況下、関係者が協力して普及、利用促進に努めることを計画に盛り込むことが必要であると考えため。

2 医療 DX におけるマイナンバーカード及びマイナンバー保険証の利用促進に関わる普及啓発について【追加】

（素案該当箇所）

第 2 部 計画の進め方 第 1 章 健康づくりと保健医療体制の充実

第 2 節 医療 DX の推進 項番 2 質の高い医療提供体制の確保のための医療 DX の推進

素案 P.68 の課題と取組の方向性に追加

（意見：課題および取組の追加）

マイナンバーカードの健康保険証利用については、国と連携して一層の推進を図る旨を記述していただきたい。

(理由)

マイナ保険証は、医療 DX にとって重要なインフラ基盤であり、質・効率の高い医療の実現に不可欠なツールであるものの、利用率は約 4.5%（令和 5 年 10 月）と低い課題があるため。

3 性の多様化への対応について【追加】

(素案該当箇所)

第 2 部 計画の進め方 第 1 章 健康づくりと保健医療体制の充実

第 4 節 生涯を通じた健康づくりの推進 3 項 青少年期の対策

素案 P.118 の課題と取組の方向性<取組 1 - 3 >

(意見：下線部の追加)

○思春期は、集団への不適応や摂食障害、性感染症や性の課題（L G B T Q + を含む）など様々な心とからだの健康課題を抱えやすい時期です。

(理由)

昨今、性転換や同性婚に関する裁判が進む中、LGBTQ+ に対する関心、認知度、理解が進む一方、社会では問題が顕在化しつつあり、職域でも対応、対策が求められている。この問題については、青少年期から正しい教育を受け、理解を深めることが、自身の心身の健康維持はもとより、精神疾患の予防にもつながると考えられるため、本計画にも盛り込むことを検討すべきと考えるため。

4 かかりつけ医機能について【追加】

(素案該当箇所)

第 2 部 計画の進め方 第 1 章 健康づくりと保健医療体制の充実

第 5 節 外来医療に係る医療提供体制の確保

素案 P.141 の課題と取組の方向性の「取組 1（外来医療機能の明確化・連携の推進）」

(意見：下線部の追加)

○国が検討する、かかりつけ医機能が発揮される制度では、都道府県が医療機関からの報告を踏まえ、当該医療機関がかかりつけ医機能の確保に係る体制を有することを確認し、地域の協議の場に報告・公表すること等が想定されています。都内には約 1 万 5 千の医療機関が所在することから、協議の場の運営方法等について検討するとともに、かかりつけ医の実績情報の開示など、都民にとって必要な情報提供のあり方を検討していくことが必要です。

(理由)

かかりつけ医機能の制度整備については、法制化を踏まえ積極的な取組みが求められる。都としては、都民目線に立って、都民にとって必要な情報は何かを検討の上、関係先と協議の上、適切に情報開示を進めるべく検討していくことが必要と考えます。

5 特定保健指導の実効性を高める取組について【追加】

（素案該当箇所）

第2部 計画の進め方 第1章 健康づくりと保健医療体制の充実

第6節 切れ目のない保健医療体制の推進 3項 糖尿病

素案P.193の課題と取組の方向性の「課題2」の2つ目

（意見）

特定健診・特定保健指導の実施率だけでなく、特定保健指導の実効性を高めることも課題として追記していただきたい。

また、その課題に対する取り組みとして、都として、医療保険制度に応じた適切なアウトカム指標の設定を検討いただき、実現できるよう支援いただきたい。

（理由）

被用者保険においては、被保険者の特定健診の実施率は一定の水準に達しており、今後の課題は特定保健指導の実施率（特に被扶養者＝家族）を高めるとともに、その効果を求めていく必要があるため。

6 生活習慣病対策について【追加】

（素案該当箇所）

第2部 計画の進め方 第1章 健康づくりと保健医療体制の充実

第6節 切れ目のない保健医療体制の推進 3項 糖尿病

素案P.194の課題と取組の方向性の「取組2（糖尿病の発症・重症化予防に向けた取組の推進）」

（意見：下線部の追加）

○医療保険者に対して特定健診・特定保健指導を効果的に実施するための研修を保険者協議会と連携して実施するなど、働く世代のうちから家族を含め糖尿病を予防するための取組を支援していきます。

（理由）

生活習慣病対策は家族を巻き込んだ取組みを推進するというメッセージが必要であり、働く世代だけでなくその家族の糖尿病予防の取組への支援も求められるため。